日時：平成２５月９日（土）
１３時３０分～１７時
場所：県立武道館錬成棟２階

平成２４年度
級位審査員講習会資料

講　師

教士七段　佐久川朝洋

教士七段　親川　光俊

一般財団法人　沖縄県剣道連盟

修 業 期 間

級位	学　　年	小学生修業期間	中学生以上修業期間
8	小学１年生以上		
7	〃 2 〃	八級取得後４ヶ月以上	八級取得後４ヶ月以上
6	〃 3 〃	七級 〃	七級 〃
5	〃 3 〃	六級 〃	六級 〃
4	〃 4 〃	五級 〃	五級 〃
3	〃 5 〃	四級 〃	四級 〃
2	〃 6 〃	三級 〃	三級 〃
1	中学１年生以上		二級受有者

資料 7

級位審査基準

（財）沖縄県剣道連盟

級位審査は、八級から一級までの各級位ごとに、当該級位について定めた下記の課目について行う。

級位	課目
八級	単独基本動作 (1) 礼法・構え (2) 体の運用　前後の送り足・左右の送り足 (3) 二挙動打ち　正面　左面　右面　右小手　右胴 (4) 連続打ち～前進後退正面、前進後退左右面（前後の送り足） (5) 〃　～その場正面、その場左右面　（~~左右~~前後の送り足） (6) 踏み込み打ち～正面、右小手、右胴
七級	1 単独基本動作（胴垂着用） （1）踏み込み打ち～正面、右小手、右胴 （2）二・三段打ち～小手→面、小手→胴、小手→面→胴 2 相対基本動作 （1） 立合いの礼法　（2）抜き面 （3） 左右の切り返し　（4）前後の切り返し
六級	1 基本技（剣道具着用）～正面、右小手、右胴 2 切り返し→打ち込み稽古（正面、小手→面、小手→胴、小手→面→胴） 3 木刀による剣道基本技稽古法「立会前後の作法」及び「基本１～基本３」
五級	1 基本技～正面、右小手、右胴 2 切り返し→打ち込み稽古（正面、小手→面、正面→体当り→引き面、小手→胴、正面→体当り→引き胴→面） 3 木刀による剣道基本技稽古法「立会前後の作法」及び「基本１～基本６」
四級	1 切り返し 2 互格稽古 3 木刀による剣道基本技稽古法「立会前後の作法」及び「基本１～基本６」
三級	1 切り返し 2 互格稽古 3 木刀による剣道基本技稽古法「立会前後の作法」及び「基本１～基本９」
二級	1 切り返し 2 互格稽古 3 木刀による剣道基本技稽古法「立会前後の作法」及び「基本１～基本９」
一級	1 切り返し 2 互格稽古 3 木刀による剣道基本技稽古法「立会前後の作法」及び「基本１～基本９」

平成２１年１１月２２日　改正　　平成２２年４月１日　施行

剣道級位審査課目及び号令

八級（剣道着着用）

区　分	課　目	細　目	号　　令
単独 基本動作	礼法・構え	開　始	「正面に礼」（約 30 度）　※１　　「ただ今から八級の審査を始めます。」（移動）
		座　礼	「礼法を行います」　「正座」・・・「礼」
		立　礼	「起立」・・・「提げ刀」・・・「礼」（約 15 度）
		構　え	「中段の構えを行います」・・・「帯刀」・・・「抜け刀」※２
	体の運用 （送り足）	前　後	「体の運用を行います。」「前後の送り足〇回」「始め」・・・「止め」（掛け声は一、二）
		左　右	「左右の送り足〇回」「始め」・・・「止め」
	二挙動打ち	正　面	「二挙動打ちを行います」「二挙動の正面打ち〇回」「始め」・「止め」（掛け声はメン）
		左　面	「二挙動の左面打ち〇回」「始め」・・・「止め」（掛け声はメン）
		右　面	「二挙動の右面打ち〇回」「始め」・・・「止め」（掛け声はメン）
		小　手	「二挙動の右小手打ち〇回」「始め」・・・「止め」（掛け声はコテ）
		胴	「二挙動の右胴打ち〇回」「始め」・・・「止め」（掛け声はドー）
	連続打ち	正　面	「連続打ちを行います。」「連続前進後退正面打ち〇回」「始め」・・・「止め」
		左右面	「連続前進後退左右面打ち〇回」「始め」・・・「止め」
		正　面	「連続その場の正面打ち〇回」「始め」・・・「止め」
		左右面	「連続その場の左右面打ち〇回」「始め」・・・「止め」
	踏み込み打ち	正　面	「踏み込み打ちを行います」　「往復〇回」「踏み込んで正面を打て」
		小　手	「往復〇回」「踏み込んで右小手を打て」
		胴	「往復〇回」「踏み込んで右胴を打て」
	納刀・礼法	納　刀	「納め刀」※３・・・「礼」・・・「正座」・・・「礼」・・・「起立」・・・「退場」 （数班に分ける場合は一端退場させ、最後は受審者全員開始時の態勢に集合させる。以下各級同じ）
		終　了	「以上で八級審査を終わります。」　「正面に礼」・・・「退場」

※１　審査開始と終了の「正面の礼」は、受審者を一堂に集めてから行う。（以下各級同じ）

※２　単独動作の「抜け刀」は、右足を半歩踏みだし抜刀しながら左足を引きつけ蹲踞し立ち上がって中段の構えになる。

※３　単独動作の「納め刀」は、中段の構えから、蹲踞して納刀し帯刀のまま立ち上がり半歩退いて提げ刀となる。

※４　「技の回数」及び「往復の回数」は、審査主任の指示に従う。（以下各級同じ）

※５　途中「休め」の号令をかけた場合は、次の課目を行うとき「中段に構え」の号令をかけてから行う。

剣道級位審査課目及び号令

七級（胴・垂着用）

区　分	課　目	細　　目	号　　令
単独 基本動作	礼法・構え	開　始	「正面に礼」「ただ今から七級の審査を始めます。」　（移動）
		立　礼	「提げ刀」・・・「礼」
		構　え	「中段の構えを行います。」「中段に一 構え」
	踏み込み打ち	正　面	「踏み込み打ちを行います」「往復〇回」「踏み込んで正面を打て」
		小　手	「往復〇回」「踏み込んで右小手を打て」
		胴	「往復〇回」「踏み込んで右胴を打て」
	二・三段打ち	小手面	「二段打ちを行います。」「往復〇回」「小手→面」・・「始め」
		小手→胴	「往復〇回」「小手→胴 」「始め」
		小手→面→胴	「三段打ちを行います。」「往復〇回」「小手→面→胴」・・「始め」・・「納め刀」
相対 基本動作	立会前の作法	礼法・構え	「相対基本動作を行います。」**「相対動作用意」※１**　　「右側元立ち」
	抜き技	抜き面	「連続の抜き面を行います。」「連続の抜き面〇回」「始め」・・・「止め」
	切り返し	前　後	「連続前後の切り返しを行います。」「連続左右の切り返し〇回」「始め」・「止め」
		左　右	「連続左右の切り返しを行います。」「連続前後の切り返し〇回」「始め」・「止め」
	立会後の作法	納　刀	**「納め刀」※２**　・・・「退場」
		終　了	「以上で七級審査を終わります。」「正面に礼」・・・「退場」

※１　「中段に一構え」は、「帯刀」から「抜け刀」までの一連の動作を行う。

※２　「相対動作用意」は、約９歩の間合いで提げ刀のまま相互の礼をし、帯刀して右足から歩み足で三歩前進し、剣先が触れない程度に抜き合わせながら左足を引きつけ蹲踞し立ち上がり中段に構える。

※３　相対動作の「納め刀」は、始めた位置に戻り、中段に構え（剣先は触れない）、蹲踞して納刀し、帯刀のまま立ち上がり左足から歩み足で三歩（又は５歩）退いて提げ刀の後、相互の「礼」までとする。

剣道級位審査課目及び号令

六級（剣道具着用）

区　分	課　目	細　　目	号　　令
基本動作	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から六級の審査を始めます。」
		基本動作	「相対動作用意」「右側元立ち」　「基本技の打ち方を行います」
基本技	基本技の打ち方	正面打ち	「正面打ち」「往復○回」「始め」　　「元立ち交代」「始め」
		小手打ち	「右小手打ち　往復○回」「始め」　　「元立ち交代」「始め」
		胴打ち	「右胴打ち　往復○回」「始め」　　「元立ち交代」「始め」
	切り返し		「切り返しを行います」**「切り返し」※１**　「始め」 「元立ち交代」「始め」
	打ち込み稽古		「打ち込み稽古を行います」**「打ち込み稽古」※２**「始め」　「元立ち交代」「始め」
基本動作	立会後の作法	納　刀	「納め刀」・・・「退場」
		終　了	「以上で六級の実技審査を終わります。」「正面に礼」・・・「退場」

※１　「切り返し」の最後の面は元立ちが体捌きするのでそのまま通りすり抜け振返り元立ちに正対して身構える。（残心）
　その後元の位置に戻る。（以下各級同じ）

※２　「打ち込み稽古」の打突順は、正面 ⇒ 小手・面 ⇒ 小手・胴 ⇒ 小手・面・胴

木刀による剣道基本技稽古法

区　分	課　目	細　　目	号　　令
礼法・構え	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から木刀による剣道基本技稽古法を始めます。」
		座礼～構え	**「立会前の作法、座礼から始め」※１**　「右側元立ち左側懸かり手」
基本１	一本打ちの技	面・小手・胴・突	「基本１、一本打ちの技」「正面、小手、胴、突き」
基本２	連続技	小手→面	「基本２、連続技」「小手→面」
基本３	払い技	払い面	「基本３、払い技」「払い面」　**「元立ち交代」※２**　**※３**
礼法・構え	立会後の作法	終　了	「審査員に番号見せて下さい」「直れ」「座礼」（下座に移動）「起立」 「以上で六級審査を終わります。」「正面に礼」・・・「退場」

※１　立会前の作法は、座礼をし、提げ刀のまま立会の間まで移動、正面の礼、相互の礼、帯刀、３歩踏み出して蹲踞しつつ抜け刀、横手当たりを交差、立ち上がって中段の構え、構えを解いて小さく５歩で元の位置に帰り中段に構える。

※２　元立ちの交代については、審査主任の指示に従う（以下各級位同じ）

※３　終わったら蹲踞して納刀、帯刀、小さく５歩退る、刀を持ちかえ相互の礼、正面への礼まで行う。（以下各級同じ）

剣道級位審査課目及び号令

五級

区　分	課　目	細　目	号　令
基本動作	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から五級の審査を始めます。」
		基本動作	「相対動作用意」　「右側元立ち」
基本技	基本技の打ち方	正面打ち	「基本技の打ち方を行います。」「正面打ち　往復〇回」「始め」「元立ち交代」「始め」
		手打ち	「右小手打ち　往復〇回」「始め」　「元立ち交代」「始め」
		胴打ち	「右胴打ち　往復〇回」「始め」　「元立ち交代」「始め」
	切り返し→打ち込み稽古		「切り返しから打ち込み稽古を行います。」※1　「切り返し・打ち込み稽古」「始め」（習技者は切り返しの後引き続き打ち込み稽古に移り、終わったら元の位置戻り構える）「元立ち交代」「始め」（習技者は終わったら元の位置に戻り構える）
基本動作	立会後の作法	納　刀	「納め刀」
		終　了	「以上で五級の実技審査を終わります。」・・「正面に礼」・・・「退場」

※1「打ち込み稽古」の打突順は、正面⇒ 小手・面⇒ 面・体当たり・引き面⇒ 小手・胴⇒ 面・体当たり・引き胴・面

木刀による剣道基本技稽古法

区　分	課　目	細　目	号　令
礼法・構え	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から木刀による剣道基本技稽古法を始めます。」
		座礼～ 構え	「立会前の作法、座礼から始め」　「右側元立ち左側懸かり手」
基本1	一本打ちの技	面・小手・胴・突	「基本1、一本打ちの技」「正面、小手、胴、突き」　「始め」
基本2	連続技	小手→面	「基本2、連続技」「小手→面」
基本3	払い技	払い面	「基本3、払い技」「払い面」
基本4	引き技	引き胴	「基本4、引き技」「引き胴」
基本5	抜き技	面抜き胴	「基本5、抜き技」「面抜き胴」
基本6	すり上げ技	小手すり上げ面	「基本6、すり上げ技」「小手すり上げ面」　「元立ちの交代」
礼法・構え	立会後の作法	終　了	「審査員に番号見せて下さい」「直れ」「座礼」（下座に移動）「起立」「以上で五級審査を終わります。」「正面に礼」「退場」

剣道級位審査課目及び号令

四級

区　分	課　目	細　　目	号　　令
基本動作	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から四級の審査を始めます。」
		基本動作	「相対動作用意」
基本技稽古	切り返し		「Ａ切り返し」　　「Ｂ切り返し」
	互格稽古		「互格稽古」「始め」・・・「止め」・・・「納め」
基本動作	立会後の作法	終　了	「以上で四級の実技審査を終わります。」「正面に礼」・・・「退場」

木刀による剣道基本技稽古法

区　分	科　目	細　　目	号　　令
礼法・構え	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から木刀による剣道基本技稽古法を始めます。」
		座礼～構え	「立会前の作法、座礼から始め」　「右側元立ち左側懸かり手」
基本１	一本打ちの技	面・小手・胴・突	「基本１、一本打ちの技」「正面、小手、胴、突き」
基本２	連続技	小手→面	「基本２、連続技」「小手→面」
基本３	払い技	払い面	「基本３、払い技」「払い面」
基本４	引き技	引き胴	「基本４、引き技」「引き胴」
基本５	抜き技	面抜き胴	「基本５、抜き技」「面抜き胴」
基本６	すり上げ技	小手すり上げ面	「基本６、すり上げ技」「小手すり上げ面」　「元立ちの交代」
礼法・構え	立会後の作法	終　了	「審査員に番号見せて下さい」「直れ」「座礼」（下座に移動）「起立」「以上で四級審査を終わります。」「正面に礼」・・・「退場」

剣道級位審査課目及び号令

一・二・三級

区　分	課　目	細　　目	号　　令
基本動作	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から三級の審査を始めます。」
		基本動作	「相対動作用意」
基本技稽古	切り返し		「A切り返し」（元の位置に戻る）「B切り返し」
	互格稽古		「互格稽古」「始め」・・・「止め」・・・「納め」
基本動作	立会後の作法	終　了	「以上で一・二・三級の実技審査を終わります。」「正面に礼」・・・「退場」

木刀による剣道基本技稽古法

区　分	課　目	細　　目	号　　令
礼法・構え	立会前の作法	開　始	「正面に礼」「ただ今から木刀による剣道基本技稽古法を始めます。」
		座礼～ 構え	「立会前の作法、座礼から始め」　「右側元立ち左側懸かり手」
基本１	一本打ちの技	面・小手・胴・突	「基本１、一本打ちの技」「正面、小手、胴、突き」
基本２	連続技	小手→面	「基本２、連続技」「小手→面」
基本３	払い技	払い面	「基本３、払い技」「払い面」
基本４	引き技	引き胴	「基本４、引き技」「引き胴」
基本５	抜き技	面抜き胴	「基本５、抜き技」「面抜き胴」
基本６	すり上げ技	小手すり上げ面	「基本６、すり上げ技」「小手すり上げ面」
基本７	出ばな技	出ばな小手	「基本７、出ばな技」「出ばな小手」」
基本８	返し技	面返し胴	「基本８、返し技 」　「面返し胴」
基本９	打ち落とし技	胴打ち落とし面	「基本９、打ち落とし技」「胴打ち落とし面」　「元立ちの交代」
礼法・構え	立会後の作法	終　了	「審査員に番号見せて下さい」「直れ」「座礼」（下座に移動）「起立」 「以上で一・二・三級審査を終わります。」「正面に礼」　「退場」